

事業所名 グループホーム 星の家

日付 平成 20年 5月 27日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 薬剤師・介護支援専門員

介護経験歴7年

[自主評価結果を見る](#) (工事中)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

グループホーム内は広々とした3ユニットです。掃除も行き届いていて、清潔感が溢れています。また、天気の良い日は、窓をできる限り開放することで、爽やかな風を取り入れ、室内にこもりがちな入居者に少しでも自然に触れられるように配慮しています。日々のそのような心がけの積み重ねで、排泄時などの臭いもなく、もし有ったとしても気にならないように気配りをしています。そして、臭いや音で他の人に悟られないように、入居者のプライバシーまでも気配りしています。

スタッフは、長年の経験から培われた入居者の生活安定のリズムを把握しているため、ルールやマニュアルで強制することなく、自然と生活ができるようにしています。入居者は、安心してのんびりと自分の家族のような関係で生活できていました。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

管理者が変わったようですが、新しい方向性がまだ職員に伝わっていないようです。もう少し時間がかかりそうですが、地道にトライすれば好改善できるでしょう。職員の交代も多いので管理者とのコミュニケーションを中心として、ベクトルを合わせると良い方向性に向かうと思います。以前より職員の数も減少しているため、今まで出来てきたことがなかなか難しくなっているようです。とくに外に出る機会が少ないと感じました。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	「今以上に家族との連携を深めて行きたい。職員同士の話し合いを深めて行き、入居者を中心にした生活が出来るようにして行きたい」と考えています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	入居者の要望を出来るだけ聞き、対応に関しても入居者が落ち着けるように配慮しています。趣味に没頭していただけるように配慮したり、片付けなどを手伝ってもらったりして気をまぎらわすようにしています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	トイレ誘導の時など、回りの入居者に気付かれないように配慮しています。のれんを部屋の前に吊して、直接中が覗かれないようにしていました。部屋の掃除を徹底的に行い失禁などの臭いが残らないように努めています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	入居者一人ひとりに合った介助を職員間で話し合い、個々に対応できる適切な援助方法を考えています。職員会議用の連絡ノートを作り職員全員が理解できるようにしました。他のユニットのことも分かるようにリーダー会議で問題点を話し合っています。		